



# みなとしみず

国土交通省中部地方整備局  
清水港湾事務所  
御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所  
静岡市清水区日の出町7番2号  
TEL. 054-352-4146(代表)  
http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp

## MS ハンセアティックが初めて清水港に入港しました



「MS ハンセアティック」

秘境を旅する客船「MS ハンセアティック」が、10月1日(月)に清水港に初入港しました。

MS ハンセアティックは、“豪華な環境の中で、未知の地を探検しよう”をコンセプトに、サウナやプール、5つ星レストランなどの施設を有し、優雅な船上生活を楽しみながら、北極や南極などの秘境を旅しています。

今回の寄港は、清水港客船誘致委員会(事務局:静岡市清水港振興課)の活動により実現したもので、前日に東京を出港、清水で1日滞在した後、鳥羽に立ち寄り、南太平洋の島々をめぐる、インドネシアのバリ島へ向かいます。

入港時には東海大学附属翔洋高校吹奏楽部による演奏と静岡市立清水小学校3年生による踊りが披露され、引き続き行われた歓迎セレモニーでは、福本俊明静岡市副市長とティロ・ナトケ船長からのあいさつがあり、清水小学校3年生らからの花束贈呈や記念品の贈呈がありました。

寄港中は、富士山ツアー、マグロの解体ショー、芸者踊り、茶会など様々なイベントで訪れた方々をおもてなしました。乗客の方にインタビューしたところ、「東海大学附属翔洋高校吹奏楽部の演奏は素晴らしい!」と答えてくれました。

清水にはたくさんの観光資源があり、国際観光港として世界に向けて発信していけるものと確信しています。



## ファインダーの向こう

植物の名前には、「ハマユウ」、「ハマゴウ」、「ハマボウ」、「ハマナス」、「ハマエンドウ」など「ハマ」のつくものがあります。日当たりが強く、真水が少なく、風が強いといった海岸の環境に適合した植物です。

私がよく散歩する三保半島の海岸線でも、季節ごとにこれらの植物の若葉や花を楽しむことができます。ハマユウのたおやかな白の花、ハマボウの上品な黄色、ハマゴウの丸くて分厚い葉と紫の美しい花、などが心に響きます。

港の整備の一環で緑地を造り、樹木や草花などを植えますが、そのときに、外来のきれいな花々を植えるのもひとつの考え方でしょう。しかし、少し地味かもしれませんが、海の環境に適し、昔からその場所に生えていた植物を使って緑地を造るのも大切なことではないでしょうか。

もともとの自然の美しさを感じることができる場所を持ちたいものです。



ハマユウ(浜木綿)ヒガンバナ科



ハマゴウ(浜栲)クマツヅラ科



ハマボウ(浜朴)アオイ科



ハマナス(浜梨)バラ科

Photos : A. Fujii

## 清水港新興津防波堤の延伸工事を実施中

清水港新興津防波堤は、外海からの波を防ぎ、新興津岸壁に船舶を安全に接岸させ、コンテナの荷役を安全に行うことを目的として、平成11年度より整備しています。

この防波堤は、「ケーソン」と呼ばれる鉄筋コンクリート製の箱を海に沈めていく方式で施工されており、今年度は4函を据え付け、防波堤の長さを60m伸ばします。

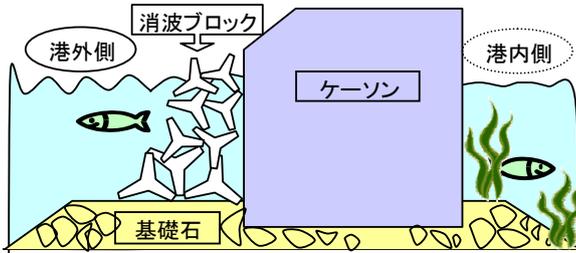
現在は、ケーソンを設置するマウンドの石(基礎石)を投入しています。潜水士により、1個50kg~200kgもある石を、海底にきれいに並べた後、11月上旬にケーソンを据付ける予定です。



船から基礎石を投入

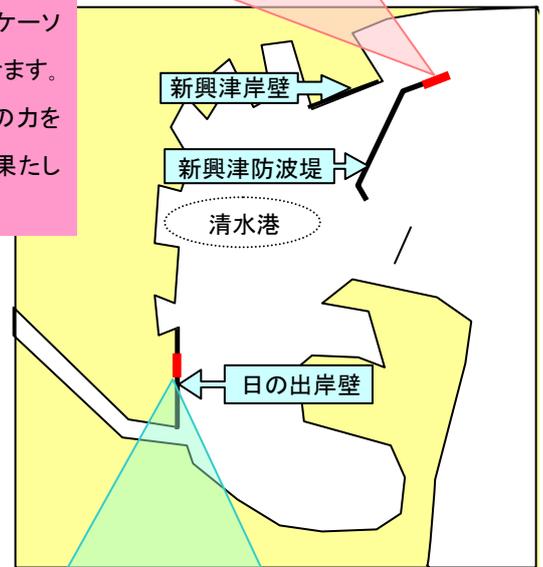


船の上には大きな石がいっぱい



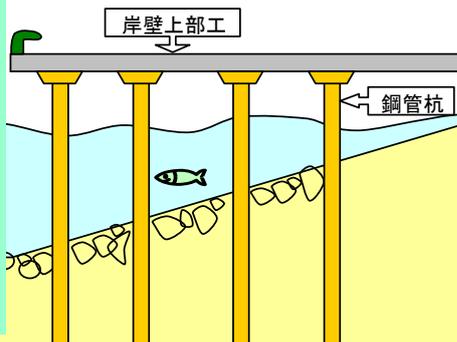
### 【新興津防波堤のしくみ】

- 重さ約1,500tのケーソンを海に沈めていきます。
- 消波ブロックは、波の力を分散させる役割を果たしています。



### 【日の出岸壁のしくみ】

■ 日の出岸壁は、栈橋(さんばし)式の岸壁で、海に打ち込まれた鋼製の杭の上に、鉄筋コンクリートでできた岸壁上部工がつくれます。



## 清水港日の出岸壁を補修中

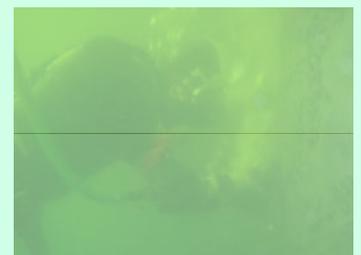
清水港の日の出岸壁は、冷凍マグロの陸揚げ、客船やフェリーなどが接岸するなど、利用率が非常に高い岸壁です。

しかし、施設が老朽化しているため、現在、鋼管杭や岸壁上部工の補修工事を実施しています。

今後も、劣化状況に応じて補修を行い、公共施設の延命化を図ります。



日の出岸壁の工事現場



潜水士による補修の様子

# 「しらすどんぶり」が大人気！ 田子の浦漁協しらす祭

9月30日(日)に田子の浦漁業協同組合主催の「第8回しらす祭」が田子の浦漁港で開催されました。

この祭は、富士ブランドにも認定されている「田子の浦しらす」の美味しさを広くPRし、漁業振興につなげようと開かれている人気の行事です。

当日はあいにくの雨模様でしたが、その日に水揚げされた新鮮なしらすを目当てにたくさんの人が訪れました。

会場では、生しらすや釜揚げしらすをはじめとした海産物や、お茶などの農産物を販売する各種模擬店、しらす漁船の体験乗船など楽しい催しが繰り広げられました。

祭の呼び物となっている、名物「しらすどんぶり」は、生しらすや釜揚げしらすがたっぷりのって、なんと200円という超安値で提供され、販売開始前から長い行列ができるほどの盛況ぶりでした。



1000食限定のしらすどんぶり…200円

### 「シラス」の親は??

「シラス」は、体長2cmほどの、マイワシやカタクチイワシの子供(稚魚)です。まるごと食べられて、カルシウムも豊富です。



### ☆しらすクイズ☆



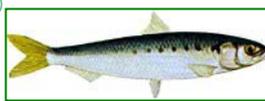
#### 【問題】

①～③の中に、しらすの親がいますよ～  
どれかわかるかな?  
☆答えはこのページの下にありますよ。

①



②



③



★ヒント★ 体型が似ています。



### 田子の浦港事務所発

～みなとの守り神【阿字神社】～

田子の浦港中央航路の東側に小高い丘があり、そこに田子の浦港およびその周辺を守護するとされている阿字神社があります。

今回は、そのいわれをご紹介します。



田子の浦港の全景(阿字神社と中央航路)

天正(安土桃山時代頃)の頃、三ツ股淵(※)には毒竜が住んでいて、人身御供として少女がいけにえに捧げられていました。

旅の巫女阿字もまた、いけにえに捧げられそうになりましたが、毒竜に立ち向かい、人々の難儀を救いました。

この阿字神社は、この地を守る水徳の神として阿字が祀られています。

現在の社殿は、その神徳が田子の浦港およびその周辺にまで及ぶことを祈念して、港口の清浄な地を選んで建立されました。

(※)三ツ股淵…現在の田子の浦港に流入している、小潤井川・和田川・沼川が合流する場所にあった淵のこと



阿字神社



阿字の話が書かれている碑

【答え】クイズの正解は、②です。①はミノカサゴ、③はイシガキダイです。わかったかな？

# 港うお(魚)ツチャー

スズキ編

(釣りバカカリチヨ一:監修)



「スッキリしない天気だねえ、秋の長雨ってことですか。」

僕は駿河湾生まれの海生生物だから雨は全く気にならないよ。」

「なるほど、昔水泳部の友達が同じようなこと言ってたのを思い出すよ。ところで、この時期の海はどんな感じなの？」

「そうだね、降雨によって川から真水が入り塩分濃度が多少下がるようなこともあるかな。甘潮なんて言い方をすることもあるよ。」

「え～海が甘い??んな訳ないか。で甘党な魚はいないのかい？」

「いるいる。スズキが代表選手で、成長とともに名前を変える出世魚だ。川に上ることも珍しくない甘党だよ。まさか釣りたいなんて言わないよね。」

「さすがベエズ、わかってるじゃない、釣りたいねえ～。さあ、早く釣り方を教えなさい。」

「そんな上から目線の出世できそうもない係長には教えたくないのですがねえ…(ニヤリ)。肉食派の本能に訴えるが如くルアーを生きてる魚のように泳がせるのさ。表層を意識して釣るのが基本だよ。ポイントは河口付近、三保防波堤～三保灯台にかけてかな。言っておくけど簡単じゃないですよ……」

健闘と出世を祈ります。それでは Let's enjoy fishing !!



初登場 釣りバカカリチヨ一の勇姿



清水区三保灯台にて

## ちょっとお勉強シリーズ① 【こんやのおかずも港から】

日本は四方を海に囲まれた小さな島国です。皆さんが食べている肉や魚、果物などの食料の多くが海外からの輸入に頼っています(図-1)。

「そんな事、言われなくても知ってるよ!」と言う声が聞こえてきそうですが…まあ、そんなこと言わずに図-2もよーくご覧下さい。調理品を作る上でも、素材のほとんどが輸入品です。和風料理には欠かせないしょうゆや豆腐だって、原料である大豆の93%が海外からの輸入です。また、みんなが大好きなラーメンの麺や、カレーのルウの原料である小麦も87%が輸入です。このように、みなさんは、毎日のように海外からの輸入品を口にしているわけです。

わが清水港へも、マグロをはじめとする魚介類、大豆、トウモロコシ、野菜、果物等の様々な食料が皆さんの食卓に向けて輸入されています。

“食卓と港とのつながり”を感じていただけましたでしょうか?

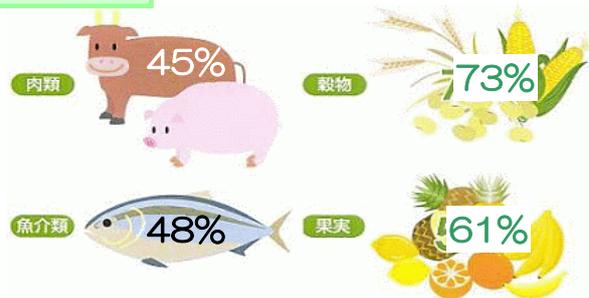


図-1 外国から輸入している割合(農林水産省)

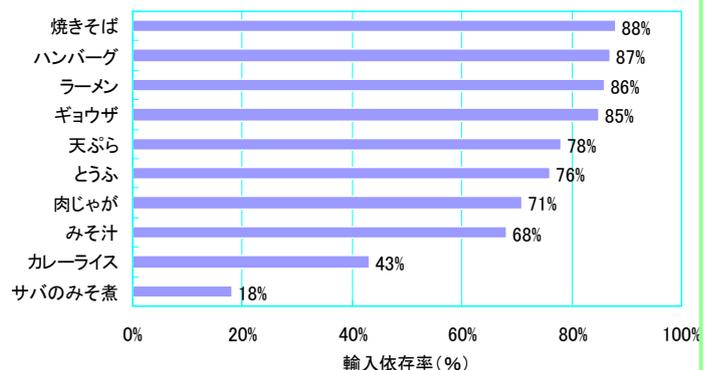


図-2 調理品の素材に占める輸入品の割合(国土交通省港湾局)

## 海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル  
おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間:9時~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く)



- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■本誌に関するお問い合わせ先■  
清水港湾事務所 企画調整課  
太田・屋敷

TEL 054-352-4148  
e-mail shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp

